

「放送セミナー2013」を開催 ～放送分野から安心安全を考える～

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)は、12月20日に広島市内で中国情報通信懇談会との共催により「放送セミナー2013」を開催し、自治体、放送事業者、有線放送事業者及び通信事業者など60名の参加がありました。

本セミナーは、近年クローズアップされている「安心安全」をテーマに放送分野に焦点を当て、①サイバー攻撃や情報漏洩等の情報セキュリティ対策、②防災・災害情報に関する放送の役割について考えることを目的として開催したものです。

冒頭、齊藤局長が、「放送局がサイバー攻撃を受けた韓国の事例を“対岸の火事”にすることなく、情報セキュリティ対策に本気で取り組んでほしい。また、災害放送の関係では、阪神淡路大震災後の臨時災害FMの制度づくりでは自分が担当補佐だった。東日本大震災後の南相馬チャンネル(エリア放送)の開局には私も北陸から応援した。我が国では、大きな災害があるたびに地域限定の放送メディアが登場し、被災地の復興を担ってきた歴史がある。」と挨拶しました。

セミナーⅠ『情報セキュリティに対する脅威の最新動向とその対策』〔マカフィー株式会社 宮本講師〕

韓国で発生した放送局に対するサイバー攻撃はショッキングなニュースとして記憶に新しい。日々進化する攻撃手法への対応や情報漏洩等への対応は気が抜けない。そうした脅威の動向と最新の情報セキュリティ対策等について説明していただきました。

セミナーⅡ『防災・災害情報と放送の役割』〔NHK放送文化研究所 村上講師〕

大規模地震や津波、大型台風、豪雨、竜巻等の自然災害が相次ぎ、また一方で南海トラフ巨大地震への備えが叫ばれる中、防災・災害関係情報を迅速・的確に住民に届けることの重要性が強く認識されている。近年の被災事例において放送メディアがどう関わり貢献してきたのか、また、これまでの経験の基に見えてきた放送メディアの役割と課題、今後の展望等について説明していただきました。



〔主催者挨拶〕 齊藤局長



セミナーⅠ マカフィー株式会社
西日本営業本部西日本SE部
スペシャリスト 宮本 浩二 氏



セミナーⅡ NHK放送文化研究所
メディア研究部専任研究員 村上 圭子 氏



セミナー
会場の
様子



〈お問い合わせ先〉 中国総合通信局放送部放送課
TEL 082-222-3382